※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	明解　地理総合　（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理という空間的広がりを感じる。
・地理的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・自然環境や歴史を背景とした現代世界の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

・地理に関わる諸事象に関して、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
・地理に関わる事象の意味や特色、相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、構想・考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
・地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究し解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりできる。	知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力などを身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究・解決しようとしている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などが深まっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図や地理情報システムでとらえる現代世界	第1章　私たちが暮らす世界 第2章　地図や地理情報システムの役割 第3章　資料から読み取る現代世界	a: 方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなど、地理に関する基本的な知識を身に付けている。 b: 地図や地理情報システム（GIS）などを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 c: 地図や地理情報システム（GIS）などを用いて、その情報を収集し、読み取ることで、地理に関わる諸事象を主体的に探究しようとしている。	定期考査 確認テスト	ワークシート 定期考査	振り返りレポート ワークシート
2学期	国際理解と国際協力	第1章　人々の生活文化と多様な地理的環境 第2章　さまざまな地球的課題と国際協力	a:地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族問題などの地球的課題についての基本的な知識を身に付けている。 b: 特色ある生活文化と地理的環境との関わりを、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、そこでうまれる課題の解決に向けて構想したり、考察・構想したことを効果的に説明できている。 c: 国際理解や国際協力の重要性を認識し、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りレポート

※令和４年度以降入学生用

3学期	持続可能な地域づくりと私たち	第1章　自然環境と防災 第2章　生活圏の調査と地域の展望	a: さまざまな自然災害に対応したハザードマップなどの地理情報を活用する技能を身に付けている。日本の自然環境の特色、自然災害への備えや対応などについての基本的な知識を身に付けている。 b: 日本の地形や気候の特性と自然災害、人々の生活との関係性について、諸資料を用いて考察している。地域調査の一連の流れをふまえながら、学校周辺地域で生じている課題について調査し、その成果を効果的に説明できている。 c: 学校周辺地域で生じている課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度